

株式会社MCC フリュアヴァンス

トップメッセージ

代表取締役社長
横森 伸一



物流センターの自社運営により マツキヨココカラ&カンパニーグループ全体の ロジスティクスに寄与

2019年10月1日、株式会社ココカラファインヘルスケアの東京近郊西側の店舗物流を担う所沢物流センターを運営する会社として誕生しました。その後、2021年3月に東京近郊東側の店舗物流を担う草加物流センター、同年11月に阪神中心部の店舗物流を担う福島大開センターを開業し、運営しています。

店舗運営業務の要件にあわせたデマンドチェーンを構築し、各卸売り業者様からの商品納入後、店舗向けに出荷する最終荷揃え時刻までをJIT (Just In Time) にて調整するTC型センター（通過型物流センター）として各センターを運営しております。

また、顧客の利便性向上を目的としたオンラインストアのデリバリーサービス「マツキヨココカラQ」の在庫ハブ倉庫としての役割も担い顧客の利便性向上に貢献しています。

名称	株式会社MCCフリュアヴァンス
所在地	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-17-6 イノテックビル
電話番号	045-548-5466
会社設立	2019年10月

事業計画と施策

当社は、4つの管理項目を重視し、グループ全体のサプライチェーンマネジメントを推進していきます。

Quality	常に高い品質を維持し、問題発生時には迅速に対応・カイゼンします。
Cost	社会的な情勢である物流コストの上昇を、カイゼンにより抑制します。
Delivery	Service Level Agreementにおける納期、納品状態を遵守します。
Sustainability (持続可能性)	事業活動の継続性を確保するため、物流技術を有する人材を育成し、組織・体制を構築します。

また、国土交通省・経済産業省・農林水産省が提唱する「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、運送内容の見直しや、安全確保を含む「自主行動宣言」に基づいた取組みを徹底しています。

自主行動宣言の6つの取組み

1. 物流の改善提案と協力

荷待ち時間や荷卸しの低減、付帯作業の合理化等についてお取引先様からの意見を聞き、自らも積極的に提案します。

2. 予約受付システムの導入

トラックの予約受付システムを導入し、荷待ち時間を短縮します。

3. 荷役機器等の活用

パレット、カゴ台車、折りたたみコンテナ、通い箱等を活用し、荷役時間を削減します。

4. 検品水準の適正化

検品方法や返品条件等を適正かつ合理的な提案があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。

5. 荷役作業時の安全対策

労働災害の発生を防止するため、安全な作業手順、安全通路を明示し、定期的な研修を通じ安全衛生を確保するとともに事故が発生した場合の損害賠償責任の明確化を図ります。

6. 異常気象時等の運行の中止・中断等

台風、豪雨、豪雪等の異常気象が発生又は見込まれる際には、無理な運送を行いません。安全確保に向けての中止・中断等はその判断を尊重します。

今後の方針

「お客様から選ばれる理由は物流にあり！」を合言葉に、店舗への安定供給を使命として、物流センター業務に従業員全員が責任感をもって履行し、社会に貢献してまいります。また、経営トップ自らが現場に足を運び、センター長や正社員のみならず、サービスクルーとも対話を重ね、業務面、職場環境面、待遇面などについての課題を確認し、対策に取り組んでまいります。こうした対話を通じて、従業員が安全に働ける環境を整えるとともに、誰もが改善活動に参加し、気軽に発案できる風通しのよい組織風土を築き上げてまいります。

